



お元気ですか!

志村 たかよし です

第660号 2013年9月22日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

課題 山積

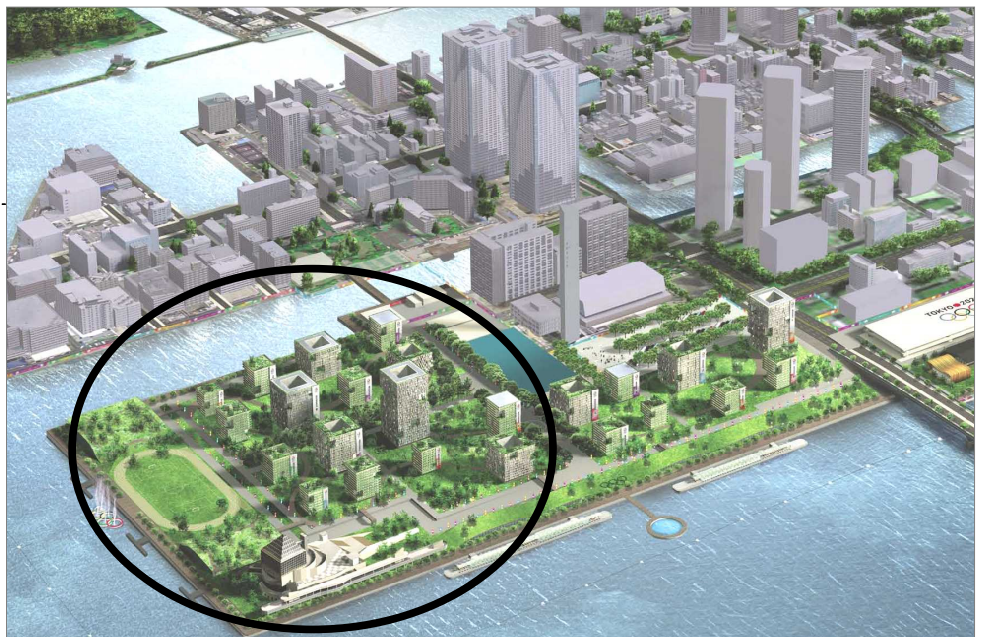
2020年オリンピック・パラリンピック東京大会決定 晴海に「選手村」建設

2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決まりました。
その結果、晴海に選手村がつけられることが確実となり、中央区と区民にとって大きな影響を受けることになりました。



選手村の様子=立候補ファイルより

立候補ファイルでは、選手村として1万7千人の宿泊施設を民間事業者につくらせ、大会後にマンションとして売却や賃貸して資金を回収させる計画で、オリンピックが終わると、総数3千戸・約1万人が住む町が新たにできること



選手村(○囲み)を中心とした町のイメージ=立候補ファイルより

になります。
そのため、学校・幼稚園・保育所や区民館・児童館・病院・特養など様々な施設整備が必要になってきます。さらに、交通インフラの整備も必要となり莫大な税金投入も想定されます。

スポーツと平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックには反対ではありませんが、東日本大震災被災地の復興もまだまだ、福島第一原発の汚染水処理のメドもたたないのに、オリンピックを口実に、インフラ整備や大型開発を進めるために、東京に財政投入を集中することにたいして、はやくも批判が出ています。

現在の日本の状況に見合った税金の使い方が求められます。

日本共産党中央区議団は、オリンピック東京招致について、

オリンピックは反対ではないが
①オリンピックを大型開発推進のテコにはいけない。②東京一極集中を加速させるもの。③東日本大震災被災者の生活支援、放射能対策への税金投入が優先されるべき。④関係地域や自治体の声を無視して進めている。⑤福島第1原発事故の被害は、様々な形で拡

大している。2020年が放射能におびえず「安全な日本」と世界に宣言できるといふ保証はない。⑥都民の8割以上が反対している。という理由で反対してきました。

しかし、東京での開催が決まった今、現実的な対応が求められています。

私たち日本共産党は、反対してきたこれらの問題点を意識し、オリンピック準備が、国民や都民の生活や環境と調和のとれた無理のない取り組みになることを求めています。

安倍首相はI O C総会で、高濃度汚染水問題について「安全」と国際公約をしましたので、その安全性を科学的に示さなければなりません。

一方、会場新設のために自然を壊す計画に対してきびしい反対の声が上がっています。

解決すべき課題は山積です。

勝どき児童公園で「太陽のマルシェ」

勝どき一丁目の月島第2児童公園を利用した「太陽のマルシェ」(月1回2日間)の初日となる9月14日、会場に行ってみました。

欧米の「青空市」のようにこだわりの農作物などが並んでいて、多くの人で賑わいました。主催は民間企業ですが、交流スペースとして貴重な取り組みだと感じました。



絵手紙のコーナーもありました。



めずらしい野菜など見るだけで楽しい!



芝生はくつろぎのスペースに。

「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-3500-9900)